

Q1. 株式会社タカショー様の会社概要、事業内容についてお話しください。

タカショーは基本的には庭をベースにした事を色々やっています。より良い庭での暮らしを提案していこうということで、製造から販売まで一貫して行っており、我々は「ガーデンライフスタイルメーカー」と呼んでいます。

会社自体は1980年8月にこの海南でできました。その後1998年10月にジャスダック(現・スタンダード市場)に株式を上場し、2018年7月には東証一部(現・プライム市場)に上場しました。現在は資本金30億円以上、国内外18社の連結子会社を合わせ、全従業員約1200名となっています。

Q2. シュロ製品の製造販売業から造園庭園資材の販売会社を設立されましたが、なぜガーデニングの会社になったのですか。

元々はこの海南で、社長のお父様が昭和10年から園芸用の縄であるシュロ縄を製造販売する商店を営んでいました。シュロ縄は園芸で使うものなので、昔からガーデニングに関連することをしていました。実は「ガーデニング」という言葉は1997年に生まれた最近の言葉で、その年の流行語大賞のトップ10に選ばれています。私が会社を探していた当時は、ガーデニングという言葉がなかったので「園芸」関係のところで調べたりしました。元々はシュロ縄というのがガーデニング用品で、それがベースになって広がっていったので、そもそもガーデニングの商売をしていたことになります。

Q3. 貴社の特徴や強み、魅力は何ですか。

様々な庭を演出するための商品を数多く揃えています。いろんなサイズであったり色であったり素材であったりです。庭というのは色々な物を使える所なので、木や竹、石、鉄、アルミなどいろんな商品を扱っています。尚且つオーダーメイドでお客様の希望される空間を作るために、サイズを変えたり色を変えたりします。こうした別注対応が出来るのは他の大手メーカーとの差別化になっており、強みになっています。また、国内だけではなく海外にも進出しており、世界的に見てもガーデニングをトータル的にコーディネートする会社が少ないということも1つの特徴になっています。

Q4. 最近の新しい事業や取り組みについて教えてください。

最近は時代とともにデジタル化、DXを進めており、例えば仙台や東京などあちらこちらにあるショールームを現場に行かなくてもその場で、またホームページで見られるようにしています。その他、AR(拡張現実)を使った「メタバガーデン」というシステムで、何も無い所に商品をセットしたらどうなるかを見ていただくことができます。さらに4kの綺麗な画像で完成予想動画を作成するなど、お客様がイメージしやすいようなご提案をしています。どんどんデジタル化を進めていくことで無駄なものを作らない、ある意味サステナブルな取り組みです。

Q5. 「ガーデンセラピー協会」について教えてください。

「ガーデンセラピー協会」はタカショーとは別団体で高岡社長が理事長です。

寿命には平均寿命ともう1つ健康寿命があり、大体この差が10年ぐらいあると言われています。ガーデニングをしてもらうことで、心が豊かになったり身体も健康になったりということが、ある程度エビデンスで証明されている部分があって、もっとそれを広げた方が良いということでガーデンセラピー協会を立ち上げました。今は活動として、ガーデンセラピーのことをより多くの人に知ってもらうために「ガーデンセラピーコーディネーター」という資格制度を作って、どんどん広げて行っているところです。タカショーの商品を使ってくださいという訳ではなく、あくまでもより良い庭を作って欲しいということで広げて行っているという感じです。

Q6. 仕事でやりがいを感じるのはどんな時ですか。

普通の人やらない特殊な仕事をしてそれを成功させていく、例えば上場ですね。過去にジャスダック、東京証券取引所2部、1部の審査・手続きがありました。そういうところに私達に対応して来たのですが、やりたくてもその機会が無ければできない仕事なので、それを成功させて来たことにやりがいは感じています。

Q7. 今後の展望や計画についてお話しください。

国内だけではなく海外にもっと出ていこうと考えています。日本文化や庭文化をもっと世界に出して行って、最終的には世界でナンバーワンのガーデニングの会社になりたいと考えています。海外を見ても、そういうことをやっている会社が少なく、これはもしかしたら本当にチャンスがあるかもしれないです。

Q8. 貴社の採用職種や求める人材について教えてください。

仕事の内容については製造から販売、企画、営業、管理部門など、色々な仕事がありますので、必要に応じて募集をかけているところです。その中でも特に我々が見ているのが、やはりガーデニングが好きか、興味があるかどうかです。全く興味のない人が来たら多分すぐに辞めてしまうと思うので。やはり思いがあって、自分のやりたいことが、うちに入ってもらったら出来るということをお互い理解・確認しながらやっているところですね。

求める人材としては5つあります。1つは「明るい人」。ただ明るいだけではなく、本当に周りを明るくするような元気のある人ですね。2つ目が「素直な人」。教えられたことを素直に受け入れられるような。3つ目が「健康な人」。身体は勿論、心の健康もあります。まずは健康な人が良いと。4つ目が「我慢のできる人」。よく「石の上にも3年」と言いますが、やはり我慢するとそこで経験を積んでいくので、良いことも悪いことも全部吸収して強くなって行けます。5つ目が、「他人のことを分かろうとする人」。相手の心を理解する人です。我々は組織なので、みんなで一緒にワンチームで行こうというところで、「自分が自分」となるとダメなので。人のことを分かる、そういう人ですね。